

「命を守る1部屋」シンポジウム／「ひと部屋断熱」説明会（令和6年度国土交通省助成事業）

医療関係者と住宅事業者が連携し地域の健康寿命を延ばす為の取り組み

・**兵庫・神戸シンポジウム** 11月23日（土祝）13：30～16：30、アンカー神戸イベントスペース（神戸市中央区加納町4丁目2-1）**共催**：神戸市／NPO ひょうご安心リフォーム推進委員会

登壇者：岩前篤・近畿大学建築学部教授（副学長）、久保 清景・神戸市垂水区医師会長、矢島一・日本住宅リフォーム産業協会（ジェルコ）担当理事ほか

・**大阪シンポジウム** 12月7日（土）14：00～16：30、大阪御堂筋ビル M3 会議室（大阪市中央区久太郎町 4-1-3）**共催**：大阪府建築士会、大阪府／大阪市などが後援予定

登壇者：徳岡浩二・大阪府建築士会副会長、矢島一・ジェルコ担当理事のほか大学病院、行政関係者ら

説明会は、全国各地で以下のような趣旨で開催中。

医療技術が進歩し平均寿命が延びる一方で、「健康寿命」がそれ以上に伸びなければ、日常生活に制限のある期間が拡大する。結果的に本人の生活の質が低下するだけでなく、介護をする家族の負担も大きくなる。健康寿命を延ばすための取り組みは多岐にわたるが、生活習慣の改善などに加えて、ヒートショックや熱中症など気温の変化への対応として、住まいの環境を整えることの重要性が認識され、健康日本21(第三次)に住宅関連との連携が取り込まれた。ZEH 新築や一戸全面断熱改装ほどの費用をかけず部分的な改修で断熱性能が高い「ひと部屋」を確保することで気温の変化に伴う健康への影響を緩和し、健康寿命を延ばすことにつなげる試みである。地域の医療関係者と建築事業者と行政が連携し、「命を守るひと部屋断熱」を地域住民に広げる取り組みである。

問い合わせは、健康・省エネ住宅を推進する国民会議 milk@sickhouse-sa.com